



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス
 コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 39,784 | 16.1 | 20,570 | 29.4 | 20,945 | 28.4 | 14,223 | 30.0 |
| 2021年3月期第2四半期 | 34,277 | △11.6 | 15,901 | △11.2 | 16,314 | △10.4 | 10,945 | △10.5 |

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 15,187百万円 (36.6%) 2021年3月期第2四半期 11,119百万円 (△9.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 57.04 | 56.93 |
| 2021年3月期第2四半期 | 43.89 | 43.81 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 224,213 | 181,956 | 80.1 |
| 2021年3月期 | 210,699 | 173,524 | 81.3 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 179,558百万円 2021年3月期 171,394百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 27.75 | — | 27.75 | 55.50 |
| 2022年3月期 | — | 29.20 | — | — | — |
| 2022年3月期 (予想) | — | — | — | 29.20 | 58.40 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 77,600 | 3.6 | 38,400 | 6.0 | 39,100 | 5.7 | 26,500 | 558.8 | 106.26 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期2Q | 313,250,000株 | 2021年3月期 | 313,250,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期2Q | 63,860,386株 | 2021年3月期 | 63,943,259株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期2Q | 249,347,486株 | 2021年3月期2Q | 249,346,812株 |

(注) 2022年3月期2Qの期末自己株式数には274,100株、2021年3月期の期末自己株式数には357,000株、USS従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2021年11月10日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (重要な後発事象) | 11 |
| 3. 補足情報 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の新車登録台数(軽自動車含む)は、2,050千台(前年同期比1.1%増)となり、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだ前年同期を上回ったものの、世界的な半導体不足等による減産の動きが広がっており、依然として低い水準となりました。

中古車登録台数(軽自動車含む)は、新車販売台数の落ち込みの影響により下取りで発生する中古車が減少したことなどから3,221千台(前年同期比1.3%減)となりました。(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

また、中古車需要に大きく影響を及ぼす中古車輸出市場は、新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同水準まで回復し、輸出台数は650千台(前年同期比42.3%増)となりました。(財務省貿易統計調べ)

オートオークション市場における出品台数は3,476千台(前年同期比2.8%増)、成約台数は2,366千台(前年同期比10.6%増)、成約率は68.1%(前年同期実績63.3%)となりました。(株)ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、USSグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高39,784百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益20,570百万円(前年同期比29.4%増)、経常利益20,945百万円(前年同期比28.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14,223百万円(前年同期比30.0%増)となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は1,361千台(前年同期比10.1%増)、成約台数は876千台(前年同期比14.5%増)、成約率は64.4%(前年同期実績61.9%)となりました。

オートオークションにおける売上高は、取扱台数が増加したことに加え、成約率の上昇などにより増加しました。

営業費用については、のれん償却額や低額車コーナーの買取保証台数の減少などにより減少しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高31,929百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益19,852百万円(前年同期比26.5%増)となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高水準で推移したことや販売台数が増加したことにより、増収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、オークション相場が高水準で推移したものの、相場が急上昇した前年同期と比較すると台当たり粗利益は減少したため増収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高4,229百万円(前年同期比18.4%増)、営業利益85百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

その他

リサイクル事業は、金属スクラップ相場が高値圏で推移したことによる売上高および粗利益の増加に加え、解体工事の取扱いが増加したことなどから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高3,625百万円(前年同期比47.4%増)、営業利益622百万円(前年同期実績54百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は224,213百万円となり、前連結会計年度末と比較して13,513百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が7,613百万円、オークション貸勘定が6,366百万円増加したことによるものです。

負債合計は42,257百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,081百万円増加しました。これは主に、預り金など流動負債のその他が608百万円減少した一方、オークション借勘定が6,064百万円増加したことによるものです。

純資産合計は181,956百万円となり、前連結会計年度末と比較して8,431百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14,223百万円に対し、配当金を6,928百万円支払ったことにより利益剰余金が7,295百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7,613百万円増加し、72,484百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は14,982百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益20,957百万円（前年同期比28.6%増）、法人税等の支払額7,179百万円（前年同期比58.4%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は914百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出616百万円（前年同期比87.6%減）、無形固定資産の取得による支出310百万円（前年同期比90.0%減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6,453百万円となりました。これは主に、配当金の支払額6,928百万円（前年同期比6.8%減）、短期借入金の純増加額630百万円（前年同期比388.7%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な半導体供給不足や自動車部品の供給遅れにより国内新車販売は停滞し、中古車オークションの台数にも影響を及ぼすことが想定されるため、2021年5月11日に公表しました2022年3月期のオークション取扱台数予想を修正しております。

オークションの出品台数は減少するものの、中古車需要は堅調であり、成約率が高水準で推移していることや、台当たり手数料単価が予想を上回っていることなどから、前回発表の連結業績予想に変更はありません。

<連結業績予想>

通期（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：百万円)

| | 前回発表予想 (A) | 今回修正予想 (B) | 増減額 (B-A) | 増減率(%) (B-A)/A | 前期実績 (C) |
|---------------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|-------------|
| 出品台数(台) | 2,800,000 | 2,680,000 | △120,000 | △4.3 | 2,661,084 |
| 成約台数(台) | 1,708,000 | 1,720,000 | 12,000 | 0.7 | 1,680,810 |
| 成約率 | 61.0% | 64.2% | 3.2P | — | 63.2% |
| 売上高 | 77,600 | 77,600 | — | — | 74,874 |
| 営業利益 | 38,400 | 38,400 | — | — | 36,227 |
| 経常利益 | 39,100 | 39,100 | — | — | 36,996 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 26,500 | 26,500 | — | — | 4,022 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 67,770 | 75,384 |
| オークション貸勘定 | 6,596 | 12,963 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,215 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 2,124 |
| 有価証券 | 3,000 | 3,000 |
| 棚卸資産 | 1,028 | 882 |
| その他 | 940 | 1,957 |
| 貸倒引当金 | △23 | △19 |
| 流動資産合計 | 81,528 | 96,292 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 35,548 | 34,463 |
| 土地 | 63,686 | 63,702 |
| 建設仮勘定 | 30 | 159 |
| その他（純額） | 4,037 | 3,521 |
| 有形固定資産合計 | 103,302 | 101,846 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 8,906 | 8,636 |
| その他 | 6,281 | 6,096 |
| 無形固定資産合計 | 15,188 | 14,732 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 10,823 | 11,476 |
| 貸倒引当金 | △143 | △134 |
| 投資その他の資産合計 | 10,680 | 11,341 |
| 固定資産合計 | 129,171 | 127,920 |
| 資産合計 | 210,699 | 224,213 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| オークション借勘定 | 11,788 | 17,853 |
| 支払手形及び買掛金 | 707 | 459 |
| 短期借入金 | — | 630 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 220 | 220 |
| 未払法人税等 | 7,408 | 6,840 |
| 引当金 | 767 | 798 |
| その他 | 6,030 | 5,421 |
| 流動負債合計 | 26,922 | 32,223 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,911 | 2,634 |
| 退職給付に係る負債 | 776 | 831 |
| 資産除去債務 | 617 | 622 |
| その他 | 5,947 | 5,946 |
| 固定負債合計 | 10,253 | 10,034 |
| 負債合計 | 37,175 | 42,257 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,881 | 18,881 |
| 資本剰余金 | 18,911 | 18,911 |
| 利益剰余金 | 196,315 | 203,610 |
| 自己株式 | △57,435 | △57,275 |
| 株主資本合計 | 176,673 | 184,128 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 378 | 1,086 |
| 土地再評価差額金 | △5,636 | △5,636 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △21 | △19 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,278 | △4,569 |
| 新株予約権 | 432 | 504 |
| 非支配株主持分 | 1,697 | 1,892 |
| 純資産合計 | 173,524 | 181,956 |
| 負債純資産合計 | 210,699 | 224,213 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 34,277 | 39,784 |
| 売上原価 | 13,311 | 14,746 |
| 売上総利益 | 20,966 | 25,038 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,064 | 4,467 |
| 営業利益 | 15,901 | 20,570 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 2 |
| 不動産賃貸料 | 312 | 374 |
| 雑収入 | 187 | 94 |
| 営業外収益合計 | 503 | 471 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 6 |
| 不動産賃貸原価 | 75 | 85 |
| 雑損失 | 8 | 4 |
| 営業外費用合計 | 90 | 96 |
| 経常利益 | 16,314 | 20,945 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 14 | 13 |
| その他 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 15 | 13 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 31 | 1 |
| その他 | 7 | — |
| 特別損失合計 | 38 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 16,291 | 20,957 |
| 法人税等 | 5,272 | 6,479 |
| 四半期純利益 | 11,018 | 14,478 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 73 | 255 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 10,945 | 14,223 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 11,018 | 14,478 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 100 | 707 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | 1 |
| その他の包括利益合計 | 101 | 709 |
| 四半期包括利益 | 11,119 | 15,187 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 11,046 | 14,932 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 73 | 255 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 16,291 | 20,957 |
| 減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額 | 2,592 | 2,509 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 881 | 269 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △11 | △12 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △47 | 30 |
| 受取利息及び受取配当金 | 45 | 56 |
| 支払利息 | △67 | △16 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 7 | 6 |
| オークション勘定の増減額 | 11 | △12 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,944 | △302 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 744 | 90 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △23 | △247 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | △452 | △149 |
| その他 | △528 | △710 |
| 小計 | △273 | △329 |
| 利息及び配当金の受取額 | 21,113 | 22,140 |
| 利息の支払額 | 70 | 28 |
| 法人税等の支払額 | △7 | △7 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △4,531 | △7,179 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 16,644 | 14,982 |
| 有形固定資産の売却による収入 | △4,964 | △616 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 21 | 13 |
| その他 | △3,094 | △310 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △29 | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 129 | 630 |
| 長期借入れによる収入 | 980 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △209 | △277 |
| 預り保証金の預りによる収入 | 69 | 90 |
| 預り保証金の返還による支出 | △76 | △61 |
| 自己株式の取得による支出 | △978 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 109 | 158 |
| 配当金の支払額 | △7,436 | △6,928 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △51 | △60 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △61 | △5 |
| その他 | 0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △7,525 | △6,453 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,051 | 7,613 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 50,829 | 64,870 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 51,880 | 72,484 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|----------------------------|---------------|----------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | オートオー クシオン | 中古自動車 等買取販売 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,246 | 3,571 | 31,818 | 2,459 | 34,277 | — | 34,277 |
| セグメント間の 内部売上高または 振替高 | 186 | 0 | 186 | 26 | 213 | △213 | — |
| 計 | 28,432 | 3,571 | 32,004 | 2,486 | 34,491 | △213 | 34,277 |
| セグメント利益 | 15,698 | 98 | 15,796 | 54 | 15,851 | 50 | 15,901 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額50百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|----------------------------|---------------|----------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | オートオー クシオン | 中古自動車 等買取販売 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 31,929 | 4,229 | 36,158 | 3,625 | 39,784 | — | 39,784 |
| セグメント間の 内部売上高または 振替高 | 146 | 0 | 146 | 1 | 147 | △147 | — |
| 計 | 32,075 | 4,229 | 36,305 | 3,627 | 39,932 | △147 | 39,784 |
| セグメント利益 | 19,852 | 85 | 19,938 | 622 | 20,561 | 9 | 20,570 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得および消却)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項および自己株式の消却方針について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上と株主還元の実現を図るものであります。

2. 取得に係る事項内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 6,000,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.4%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10,000百万円(上限) |
| (4) 取得方法 | 市場取引 |
| (5) 自己株式取得の日程 | 2021年11月9日～2022年5月31日 |

3. 自己株式の消却の方針

当社は、2021年9月30日時点で、発行済株式総数の20.3%の自己株式を保有しておりますが、上記2.の自己株式の取得が完了した後、すみやかに発行済株式総数の5%を残して消却する予定であります。消却する株式の総数および消却予定日が決定しましたら、改めて開示いたします。

(ご参考) 2021年9月30日時点の自己株式の保有状況

| | |
|------------------|--------------|
| 発行済株式総数(自己株式を除く) | 249,663,714株 |
| 自己株式数 | 63,586,286株 |

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

| | 2021年3月期 | 2022年3月期 | | |
|--------------------------|----------|----------|--------|------|
| | 第2四半期 | 第2四半期 | 増減率(%) | 通期予想 |
| 売上高 | 342 | 397 | 16.1 | 776 |
| 営業利益 | 159 | 205 | 29.4 | 384 |
| 経常利益 | 163 | 209 | 28.4 | 391 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益 | 109 | 142 | 30.0 | 265 |

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

| | 2021年3月期 | 2022年3月期 | | |
|----------------------|----------|----------|--------|------|
| | 第2四半期 | 第2四半期 | 増減率(%) | 通期予想 |
| 《オートオークション》 | | | | |
| 出品手数料 | 64 | 75 | 17.4 | 146 |
| 成約手数料 | 63 | 73 | 16.2 | 144 |
| 落札手数料 | 98 | 113 | 15.9 | 222 |
| バイクオークション手数料 | 4 | 4 | 3.7 | 8 |
| 商品売上高 | 8 | 6 | △19.0 | 13 |
| その他の営業収入 | 44 | 45 | 2.7 | 91 |
| オートオークション計 | 282 | 319 | 13.0 | 626 |
| 《中古自動車等買取販売》 | | | | |
| 中古自動車買取販売 | 20 | 23 | 17.3 | 49 |
| 事故現状車買取販売 | 15 | 18 | 19.8 | 38 |
| 中古自動車等買取販売計 | 35 | 42 | 18.4 | 87 |
| 《その他》 | | | | |
| リサイクル事業 | 22 | 35 | 58.7 | 60 |
| 中古自動車の輸出手続 代行サービス | 1 | - | - | - |
| その他 | 0 | 0 | 1.2 | 0 |
| その他計 | 24 | 36 | 47.4 | 61 |
| 合計 | 342 | 397 | 16.1 | 776 |

- (注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。
2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。
3. 2021年3月に中古自動車の輸出手続代行サービス事業から撤退しております。
4. 通期予想を見直した結果、種類別収益の構成を変更しておりますが、連結業績予想に変更はありません。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

| | 2021年3月期 | 2022年3月期 | | |
|-------|----------|----------|--------|------|
| | 第2四半期 | 第2四半期 | 増減率(%) | 通期予想 |
| 設備投資額 | | | | |
| 支出ベース | 80 | 9 | △88.5 | 45 |
| 完工ベース | 49 | 5 | △87.9 | 43 |
| 減価償却費 | 25 | 24 | △4.9 | 49 |

- (注) 通期予想を見直した結果、設備投資額および減価償却費を変更しておりますが、連結業績予想に変更はありません。